



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

～ まつえ 湖南学園 ～

松江市立乃木小学校

令和6年4月22日

(文責) 校長 野津

= 令和6年度 始まる =

ここ数年、桜の開花が早まる傾向にありましたが、今年は校舎周辺、今を盛りと満開の桜のもとで新年度のスタートを迎えることができました。大自然の恵みに感謝です。令和6年度の乃木小学校は、全校児童849名、教職員68名(4月8日現在)によって動き始めました。

4月8日(月)の始業式では、進級した子どもたちが、新しい学校生活への緊張感と期待感を膨らませて体育館に集まりました。9日(火)の入学式には25名の来賓の方々を迎え、6年生が参列し、途中2年生が歌や鍵盤ハーモニカの演奏で123名の新入生に歓迎の気持ちを伝えました。折しも今年度は、乃木小学校創立150周年の記念すべき年です。「学校は『ある』ものではなくて『つくる』もの」とも言います。節目の年、皆様とともに、一人一人がたくましく成長する明るい乃木小学校にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



= 今日も「顔晴れ」 =

『**顔晴れ**(がんばれ)』という言葉があります。「頑張れ」でなくて、「顔晴れ」です。時々スポーツ選手や芸能人が使って耳にすることがあります。

当然、人が成長していく過程では、努力は不可欠ですし、レベルアップに向けて頑張ることには大きな価値があります。頑張ることなしに発展は期待できないと言っても過言ではないかもしれません。半面、場合によっては、精一杯の力を振り絞って一生懸命取り組んでいる人に「もっと頑張れ!」と声をかけるのは反感を買うこともありますし、日常生活の中では「ありのままの自分でもいいんだよ」とお互いのそのまますを自他共に認め合える関係を築くことも極めて大切なことです。

人が生活を送っていくうえで、泣いたり怒ったり悲しんだりすることは当たり前のことですが、気持ちがよいのはやはり笑顔ですね。「柔らかな笑顔がいっぱいの学校でありたい」というのが私たちの願いです。後述する学校教育目標にも「笑顔」という言葉がありますが、本校では、どの学年の学習や活動においてもキーワードにされ、よく使われる言葉の一つです。今年度、学校全体としては、この「笑顔」を「顔晴れ」という言葉に置き換えていろいろな場面で使っていきたいと考えています。楽しい「顔晴れ」、うれしい「顔晴れ」、頑張った後のさわやかな「顔晴れ」、……たくさんの素敵な「顔晴れ」に出会える一年になることを願っています。

乃木小学校は、今年度も児童数が県内で最も多い学校です。子どもたちは自分の学級だけでなく、大規模校ならではの組織を生かした様々な教育活動を展開しています。一人一人がこれからいろいろなことを体験し、その中で試行錯誤し、いくつもの学びを繰り返しながら成長していきます。自分自身に自信をもって、伸び伸びと充実した日々を重ねていけるよう、乃木の地域の力を存分に活用しつつ、教職員一同（下記 一覧参照）、力を合わせて精いっぱい努力いたします。

今年度の乃木小学校の学校教育目標は、昨年度同様「未来に向かって ひとみかがやき 笑顔あふれる乃木っ子の育成」です。まさに「顔晴れ」です。150年の歴史と伝統を受け継ぎ、この学校教育目標に向かって全ての教育活動を展開していきます。

この目標のもとで、ねらっている「めざす姿」は、以下のとおりです。

☆ めざす児童像

○かしこい子

確かな学力を身につけ、知恵を働かせて自分で行動する子ども

○つよい子

たくましい心と体を持ち、ねばり強く取り組む子ども

○やさしい子

思いやりを持ち、集団の中で助け合える子ども

☆ めざす学校像

○安心して学べる学校

子どもが「行きたい」と思う

○信頼される学校

保護者が「通わせたい」と思う

○よさが発揮できる学校

地域が「応援したい」と思う

☆ めざす教職像

○笑顔で協働できる教職員

○信頼を築き、温かい人間関係を育む教職員

○学び続ける教職員

今年度も「かしこく つよく やさしい子ども」をめざして毎日を送っていきます。そして、多くの方々ともめざすところを共有し、温かく愛され、応援してもらえる学校であり続けられるよう努めていきます。

引き続き、格別のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様に職員一覧を掲載し配付しています